

アメリカス・プエブラ大学（メキシコ合衆国）

今月はオアハカ州のPUERTO ESCONDIDOにバケーションに行ったり、プエブラにある火山の一つのMALINCHEに登山に行ったり、乗馬に出かけたりとアクティブに過ごしました。PUERTO ESCONDIDOは、オアハカでも有名なビーチでリゾート気分を味わいました。MALINCHEへの登山は、初めての登山経験でしたが、標高約4000KMを踏破しました。登山自体は簡単ではありませんでしたが、頂上からの景色は絶景でした。

また、日常生活においてルームメイトと慣習の違いで口論になりました。周りの空気を壊さないように気を配って生活する日本の社会的背景を持つ私と、思ったことや自分の感情を全面に出す社会的背景をもつドイツ人のルームメイトで、その違いが原因で議論になりました。今までゼミで習った、「理解しきれない」ということを理解するということを身をもって感じた経験でした。ルームメイトとは和解し、今では仲良く過ごしています。異文化理解の本質を感じた出来事だったように感じます。

春学期に入ってから、毎日アクティブに過ごしているように感じています。将来的にメキシコに住むことを視野に入れるぐらいに、この交換留学は私の人生を大きく変えたのではないかと思います。残り約4ヶ月となりました。留学にきた当初には想像してなかったくらい、月日が経つのは早いと感じています。残りの期間も勉学に励みつつ、悔いのないように楽しんで過ごしたいと思います。

仁川大学校（韓国）

仁川大学校の休み中に通える日程だったため、延世大学の語学堂に通いました。

語学堂に通っている間、日本のエージェントを通してコシウォンを契約しました。語学堂にも寮があるそうなのですが短期プログラムの参加者は利用できないようだったので、宿泊場所は自分で探すことにしました。日本に一時帰国している間に物件探しをしたので、契約に関してはすべてエージェントを通して進めていきました。

延世大学はソウルの新村というところにあり、とても栄えていました。観光で行く場所というよりも住みやすい街という印象です。飲食店なども多く、授業おわりにご飯を食べに行くこともありました。また、有名な観光地へのアクセスもよく、授業後や週末にホンデやアングクなどに行きました。仁川大学校にいるときはまた違った場所で暮らせたことは良い経験になりました。

また、延世大学にはたくさんの学食があるので、授業が終わってお昼ご飯を学食で食べることもありました。バイキング形式の学食や、フードコートのような学食など、価格帯や種類はさまざまで、毎回違う学食にワクワクしながら行っていました。

大変だったのは、ごみ捨てです。寮に住むときは違って細かいルールがたくさんありました。ゴミ袋は決められた袋を買わなければいけなかったり、分別の仕方も日本とは異なったりと、慣れるまで大変でした。住む物件によってもルールが変わるので、寮以外に住む場合には一層の注意が必要だと思います。私は、ごみ捨て以外にも、何か気になることがあったらその都度メッセージアプリで質問していました。今回のコシウォンの大家さんは親切な方で、何かあったらすぐに対応してくださいました。

セントクラウド州立大学（アメリカ合衆国）

2月は新しくチャリティー施設でのボランティアを始めました。スーパーのような規模のフードパントリーで、それぞれが持つカードをもとに配布数の確認をしたり、野菜や卵の状態を確認して渡したりしました。学校以外のコミュニティに参加することは、自身にとって大きな一歩であり、かなり不安でしたが、業務内容も簡潔で、他のボランティアの方も優しくしてくださったおかげで何とか終わることができました。バスを使っていかなければならない場所なので、週に1回行くことを目標に続けたいです。

SNSで完璧主義×先延ばし癖×プライド高いを兼ね備えている人に関する投稿を拝見し、留学前の自分がまさにこの状態だったと感じました。完璧に終わらせたいという欲が物事を始めるときのハードルを上げてしまい、そのせいでやる気が起きずに先延ばしにしてしまうが、何とか締め切りには間に合わせるという成功体験が自分の首をさらに絞めるという悪循環にいたように思います。留学に来てからは、ネイティブではないから全て完璧にこなしたら時間が足りないので、8割を目指せばよいという緩い思考で物事に取り組めるようになったので、コツコツと進める習慣が身に着きました。

オウル大学（フィンランド）

ここ最近はやっと北欧の美しい冬を感じています。どこに行っても銀世界で感動しています。中旬ぐらいに凍った海を見るために、ビーチまでサイクリングをしました。久々にビーチまで行ったので地図を見ながらでも迷っていたのですが、夏とは全く違う風景に毎秒驚いていました。いざビーチに着いてみると、驚きの光景が目の前に広がっていました。なんと、凍った海の上を歩いている人がたくさんいました。9月にはここで泳いでいたことが信じられなかったです。そんな様変わりした海の上で歩いたり、相撲をしたりしました。最後に日が沈むのを見て帰りました。しかし、旅行から帰ってくると、暖冬のせいで雨が降ってしまい、地面にはシャーベット状の雪が多く残っており、とてもすべりやすい地面になっていました。もう少しで春が来ると思うので、最後の冬を楽しんで、楽しみに待っていたいです。

ベネチア大学（イタリア）

第2セメスターが始まり、イタリア語も第1セメスターよりもレベルの高いクラスでの授業が始まりましたが、授業がない期間も自習していたおかげであまり問題なくついていくことができています。

ラテン語はベネチアで実際に見ることができる石碑などを読むということで、まだ始まったばかりですが今後の授業がとても楽しみです。

イタリア語の授業が週に4回もあるので他の授業と時間が重なってしまい、2つしか授業を取ることができませんでしたが、イタリア語とラテン語を頑張ろうと思います。

2月はベネチアではカーニバルが開催されており、毎日のように仮装をした人を見えるというとても面白い体験ができました。また、何度かサンマルコ広場など人が集まるところに赴いて仮装やステージを見ることもでき、いい思い出になりました。